

赤模様の更紗類を用ゆるが如き、又男女の帽子に、諸種の花紋を繡し、殊に女子は金銀襴製のものを愛用する等是なり。

哈薩克

哈薩克は概ね肥満長身にして、顔色淡黒、肩張りて威風を存する者多し。女子は皮膚白く肉豊かなり。頬邊淡紅色を帯び、眉目秀明、容姿艶美なる者少なからず。

男子の剃髪、圓頭、女子の辮髪は、纏頭回民と異なること無し。平素の服装に至ても、纏頭回に比較すれば、甚しき差違あるを見ず。男子冬季は、纏頭回の用ゆる冬帽又は兜様の毛帽を被り、夏季は、「チャルマ」を冠す。

哈薩克と
纏頭回との
相違

妙齡の女子は、殆んど纏頭回婦人の用ゆる如き花帽を冠し、三十歳以上の婦人は通常白布を頭部に被る。其の形は、恰も我邦婦人用の「オコソ」頭巾に似て、後方に長く垂下せり。服装に於て纏頭回と異なる所は、男子の帯を上衣の上に締め、長袴の下に革靴を穿つを常とす。其の富む者は、男女同じく往々露國服を用ゆる者あるを見受たり。又纏頭回の華美を好むに反し、哈薩克は男女共に渾て質素を尙ぶこと、是れ大なる相違點なるべし。即ち男女の服色は、少年少女の外大概黒色又は濃茶に限られ在るものゝ如し。